

令和7年度

地域福祉懇談会

福祉合同会議 実施報告書

---

社会福祉法人 恵那市社会福祉協議会

## ◆はじめに

本報告書は、令和7年度に実施した「地域福祉懇談会」および「福祉合同会議」の開催状況、話し合いの内容、今年度の取り組み成果、次年度に向けた課題、昨年度からの取り組み状況を整理し、今後の地域福祉活動の推進に活かすことを目的として作成したものである。

## ◆令和7年度 地域福祉懇談会の概要

第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）における地区計画「今後の取り組み」内の各項目から、各地区で選定した項目についてグループワーク形式にて今後の取り組み内容の検討を実施した。

## ◆地域福祉懇談会開催に向けた取り組み

地域福祉活動計画の進行管理状況から、地域福祉懇談会で話し合う項目・内容やテーマを事務局（恵那市役所社会福祉課、高齢福祉課、振興事務所（室）、恵那市社会福祉協議会地域担当者、社協計画進行管理担当者）にて事前に調整会議を実施した。また、今年度の話し合いの中から令和8年度（※一部令和7年度）の取り組みにつながる視点を持って取り組む情報共有を図った。

## ◆令和7年度 地域福祉懇談会の特徴

「地域自治区ケア推進会議」（恵那市高齢福祉課 恵那市地域包括支援センター 主管）との一体的開催を図り、地域自治区ケア推進会議で話し合われていた内容を第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の地区計画における「今後の取り組み」各項目の進行管理に落とし込むことで、地域福祉懇談会内で検討が行う体制を継続した。

## ◆令和7年度 福祉合同会議の内容・特徴

令和6年度から「地域自治区ケア推進会議」との一体的開催に合わせ、従前の振り返り会議から新たに会議名を『福祉合同会議』としている。福祉合同会議は、地域福祉懇談会に参加された方の中から、具体的な活動を検討するために地区内から参加者を選定し実施した。

また、地域福祉懇談会（多くの関係機関・関係者からの意見聴取の場）と福祉合同会議（具体的な活動を検討する場）の開催については、地域の実情に合わせて会議の回数を変更・調整して実施した。

## ◆令和7年度 会議後の取り組み

福祉合同会議終了後、事務局にて話し合いの内容・次年度への取り組み内容を整理・共有する機会を設けることで、各自の役割分担を明確にすることを図った。また、事務局より関係者・関係団体へも呼びかけを行い、話し合いの結果を取り組みにつながる体制づくりに取り組んだ。

■令和7年度 地域福祉懇談会日程表

地区	日にち	日時	場所	参加人数
大井	7月25日	19:00-20:30	大井自治会館	40名
長島	7月31日	19:00-20:30	恵那文化センター	48名
東野	6月27日	19:00-20:30	東野振興事務所	27名
三郷	8月26日	19:00-20:30	三郷振興事務所	33名
武並	8月19日	19:00-20:30	武並振興事務所	23名
笠置	9月11日	19:00-20:30	笠置振興事務所	31名
中野方	7月3日	19:00-20:30	中野方振興事務所	34名
飯地	7月2日	11:00-12:00	飯地振興事務所	19名
岩村	12月9日	10:00-11:30	岩村福祉センター	14名
山岡	7月17日	14:00-15:15	山岡振興事務所	25名
明智	8月29日	19:00-20:30	明智振興事務所	27名
串原	9月24日	13:30-15:00	串原振興事務所	20名
上矢作	8月18日	10:00-11:30	上矢作振興事務所	27名

合計参加者 368名

■令和7年度 福祉合同会議日程表

地区	日にち	時間	場所	参加人数
大井	8月27日	10:00-11:30	市役所北会議棟	10名
長島	9月2日	13:30-15:00	市役所災害対策室C	13名
東野	7月24日	13:30-15:00	東野振興事務所	12名
三郷	10月2日	15:00-16:30	三郷振興事務所	15名
武並	10月2日	10:30-11:30	武並振興事務所	12名
笠置	10月7日	14:00-15:30	笠置振興事務所	9名
中野方	8月22日	14:00-15:30	中野方振興事務所	12名
飯地	地域福祉懇談会のみ開催			
岩村	地域福祉懇談会のみ開催			
山岡	8月20日	14:00-15:30	山岡振興事務所	11名
明智	10月14日	19:00-20:30	明智振興事務所	10名
串原	地域福祉懇談会のみ開催			
上矢作	9月24日	10:00-11:30	上矢作振興事務所	15名

※参加人数は事務局含む

合計参加者 119名

◎地域福祉懇談会&福祉合同会議 参加者

社協支部関係者、地域自治区、自治連、民生児童委員、壮健クラブ、地域ボランティア、福祉委員、教育関係者、学童、福祉事業所、ケアマネジャー、振興事務所など

■地域福祉懇談会&福祉合同会議内容・会議後の取り組み内容

地区：大井
話し合いの項目 ②高齢者・子育て支援の充実
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『地域のつながりの希薄化』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入率の低さ（役や費用の負担面が影響）が課題</li> <li>・地域のつながりが弱い（子ども会や祭りなどの活動減少によることが影響） ⇒多世代交流を促進し、地域のつながりを強化することができないか？ そのためには、</li> <li>・活動している団体間の横のつながりを強化し、情報共有や協力体制を築く</li> <li>・新しい活動を無理に増やすのではなく、今ある活動を継続・発展させる</li> </ul> <p>『学校との連携と多世代交流』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を拠点としたつながりの可能性を検討できないか？（空き教室、冷暖房完備など利点あり）</li> <li>・壮健クラブ、民生委員などの地域団体は継続した関りを持っている（見守り活動）</li> </ul> <p>『高齢者支援とサロン活動』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動を通じた高齢者の交流は図れているが男性の参加が少ないのが課題</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <p>『多世代交流の機会づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大井町全域を対象とした『地域ふれあい交流会』の開催 ⇒区単位で実施している地域ふれあい交流会の活性化へ向けたモデル事業として、町全域を参加対象とした交流会の開催を図る（R8.5 予定）</li> <li>○区単位での『地域ふれあい交流会』の継続⇒R7 年度も各区で開催（計8回）</li> <li>○ひとり暮らし高齢者と小学生が交流する『ふれあい交流会』の開催 ⇒大井小（R8.1.22 開催予定）、大井第二小 R7.12 開催 高齢者 24 名参加</li> <li>○大井かわらばんを活用した『サロン活動の周知』⇒R7 年度 6 回掲載</li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ③地域のつながりの活性化・防犯、防災体制の強化 災害時・平時の見守り体制強化を目指し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個別避難計画の作成（令和6年度～令和7年度にかけての取り組み内容） ⇒大井町サロン交流会で個別避難計画について説明 民生委員が見守り活動を実施しているひとり暮らし高齢者を対象に計画作成 ※民生委員が作成するときの留意点を聞き取りし、結果を自治会へも落とし込むことで、自治会が対象とする方への個別避難計画作成へ繋げることもできた。98名作成済（R7.9 現在）</li> </ul>

地区：長島
話し合いの項目 ①子育て家庭への支援 ②見守り活動の促進
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『共通のテーマとキーワード』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶の推進：挨拶を通じた人間関係の構築、見守りのきっかけづくり</li> <li>・ 世代間交流：高齢者と子どもが自然に関われる場づくり（例：ラジオ体操など）</li> <li>・ 地域性の違い：地域ごとの活動状況や課題に応じた柔軟な対応が必要</li> <li>・ 見守り活動の工夫：散歩・ゴミ出し・通学路など日常での「さりげない見守り」</li> <li>・ 教育との連携：学校行事への地域参加、子どもたちの地域活動への関心と育成</li> <li>・ 支援体制の強化：「久須見お助け隊」などの支援組織の再活性化と認知度向上</li> <li>・ 情報発信、周知：通信・放送・看板などを活用し、継続的な周知と啓発を図る</li> <li>・ 孤立の防止：同じ建物内でも住民同士が知らない状況、外国籍住民の孤立も課題</li> <li>・ 大人の姿勢：大人同士の挨拶が子どもに影響、地域全体で挨拶文化を育てる</li> <li>・ 安心の可視化：安全な人を示す目印（帽子など）による視覚的な安心感の提供</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <p>『あいさつ運動の周知（見守り、参加、交流）』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既存の通信などを活用した周知活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒おさしま通信への掲載（R7.11号）、告知放送の活用（実施に向け調整中）</li> </ul> </li> </ul> <p>『学校行事への地域住民の参加促進』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長島小児童と地域住民のつながる機会づくり⇒手作りのポストカードをひとり暮らし高齢者へ民生委員を通じてお届けした（R8.1実施）</li> <li>○ポッチャ交流会⇒長島小6年生児童と民生委員との交流会（R7.12実施）</li> <li>○朝のあいさつ運動（普段からの顔の見える関係づくり） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒長島小学校通信内で地域の方とのあいさつの必要性を掲載（R7.10実施）</li> <li>あいさつ運動開始に向け調整中</li> </ul> </li> </ul> <p>『「久須見お助け隊」の再活性化と役割の明確化』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○久須見区の活動支援⇒活動状況の聞き取りから活動支援につなげる</li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ②見守り活動の促進 ⑤防災体制の強化</p> <p>平時・災害時の見守り体制を強化するために、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉委員の役割の明確化・体制整備（令和7年度取り組み内容） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒認知症サポーター養成講座の受講</li> <li>中野方支部へ福祉委員とその他関係機関等との連携体制についてヒアリング</li> <li>支部臨時理事会にて福祉委員の役割について変更点を意見聴取</li> </ul> </li> <li>●災害時に備えたDIG訓練の継続開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒中野区・大洞南区（令和6年度）、中野区・永田区（令和7年度中実施予定）</li> </ul> </li> </ul>

地区：東野
話し合いの項目 ①高齢者への生活支援や見守り ⑤多様な交流機会の設置
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『支え合う仕組みづくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の見守り活動に警察・新聞屋などとの連携が必要</li> <li>・ケアマネ、ヘルパーなどの支援機関からの困った人の吸い上げができるとうい</li> <li>・近所と困りごとを話せる仕組みづくりが重要 →連携できる支援のきっかけ作り</li> </ul> <p>『地元の人×こどもの交流機会づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まめなかな交流会にこども園を誘って交流するのはどうか？</li> <li>・高齢者も人材として活かす →子どもと高齢者が行事を一緒に行う</li> </ul> <p>『子育てがしやすくなってほしい』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校前や雨の日に子どもたちが立ち寄れる場所があるとよい</li> <li>・どの世代でも気軽に集える場の確保が必要 →コミュニティの場</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <p>『支え合いの仕組みづくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安心見守りエコマップ作り R8.2.3 実施予定</li> <li>⇒民生委員が見守りしている一人暮らし高齢者を対象に、支援を実施しているケアマネと一緒に対象者を取り巻く状況を図で整理することで、情報の共有を図る。今後の活用方法については作成後、検討（例：冷蔵庫に貼っておくなど）</li> </ul> <p>『多世代交流機会の創出』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「まめなかな交流会」でのこども園との交流</li> <li>⇒ひとり暮らし高齢者を対象にしたまめなかな交流会へ、東野こども園児との交流の実施と学童クラブ児童の関り（ランチョンマット作成）を追加し行うことができた（R7.10 実施）</li> </ul> <p>『子育てしやすい地域づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の保護者が子育てしやすい環境づくりに向けて</li> <li>⇒東野の現状と課題を市（担当課）へ報告・相談した（長期目標）</li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ③若者や子育て家庭の定住促進 ⑤多様な交流機会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●集いの場（サロン・配食サービス活動）支援</li> <li>・広報ひがしの内へ支部社協のページを導入してもらい、サロン・配食サービスの活動PRを開始⇒R7 年度より継続して掲載中</li> <li>●地域活動者（担い手）支援</li> <li>・サロンからのニーズ把握やサロン担い手支援のためのサロン担い手交流会の実施</li> <li>⇒R7.2 開催（R7 年度も開催予定）</li> </ul>

地区：三郷
話し合いの項目：②子育て支援の推進
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『子どもをどのように地域の中で育てていくか』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の安全・見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時の見守り活動を継続することで、声かけによる安全意識を向上させる ⇒まずは大人同士も声かけをする必要がある</li> <li>・挨拶の習慣づけと顔見知りの関係作りが地域の安心・安全の基盤となる ⇒交通安全運動にて挨拶を継続する、小さなことからコツコツと取り組む</li> </ul> </li> <li>○学校との連携（三郷小学校と地域の連携） <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会開催時グラウンドの草取りが課題、高齢者は草取りが好きということで、草取り合戦という種目を作り地域の方が参加できないか？</li> <li>・休日の小学校のグラウンドを活用できないか⇒日曜日は少年野球をしているが、土曜日なら利用可能</li> <li>・学校行事への地域住民参加の仕組みづくり ⇒学校と地域の役割分担を明確にし、持続可能な交流を推進する</li> <li>・地域での活躍の場があるといい ⇒区によっては、子ども会（小学生）までしか地区の祭りに参加できない</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多世代交流の機会づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おしゃべり会」での小学校との交流機会づくり⇒ひとり暮らし高齢者を対象にした交流機会の中で、三郷小学校1年生とトランプ・あやとり等の昔遊びを一緒に楽しむことができた（R7.10開催、計42名参加）</li> <li>・小中学生ボランティアによる地域交流機会の創出 ⇒軽トラ市での小中学生運営ボランティアの募集（R7.11開催、20名活動） 中学生による地区神輿への担ぎ手参加（R7.11開催、5名活動）</li> <li>・小学校運動会の種目に草とり合戦追加（地域の方も参加可）⇒R8年度検討</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ④地域での見守り活動等の推進 ⑤移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域での支え合い活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとを困ったままにしない、困りごとを頼みやすい地域、必要な支援につながる地域づくりを目指した『地域なんでも相談』の実施 ⇒R7.8より開始、5回開催3件相談対応（R7.12現在）</li> </ul> </li> </ul>

地区：武並
話し合いの項目 ④ボランティア活動の推進
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『支え愛の会の活動の活性化』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会案内に支え愛の会やサロンのチラシを同封して周知を図ってはどうか？</li> <li>・チラシに無料お試しチケットを掲載し、利用促進を図ってはどうか？</li> <li>・利用者の声を広報たけなみに掲載し、支援の実態や効果を住民に伝える</li> <li>・自治会総会前に勉強会を開催し、次期自治会長への引き継ぎの中で「支え愛の会」、「サロン活動」、「福祉委員の活動」を紹介してはどうか？</li> <li>・支え愛の会のチラシに「草刈り機を使用した草刈は不可」と明記し、シルバー人材センターの活用を案内し、支え愛の会との棲み分けを明確にする</li> <li>・話し相手が欲しいというニーズがある、支え愛の会メニューに追加し、無償での提供を検討してはどうか？</li> <li>・現在の支え愛の会の活動は「できることを、できる人が、できる範囲で」行うもの、仕組みを継続することが重要である</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <p>○支え愛の会・サロン活動・福祉委員の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会案内へ「支え愛の会」「サロン」のチラシを同封⇒R8 年度案内時実施予定</li> <li>・利用者の声を広報たけなみに掲載し、支援の実態や効果を住民に伝える ⇒広報たけなみへ掲載予定</li> <li>・春先の自治会長総会前に「福祉勉強会」として、「支え愛の会」「サロン活動」「福祉委員の活動について」の勉強会を行う⇒R8.4 実施予定</li> </ul> <p>○支え愛の会活動の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し相手ボランティアをメニューに追加する⇒R8.4 実施予定の福祉勉強会の際に各自治会長に「話し相手が欲しい」ニーズがあるのかを確認、さらに話し相手をボランティアとするのか、地域のつながりで解決できるのか意見聴取を図る</li> <li>・チラシに無料お試しチケットを掲載し利用促進を図る、「草刈り機を使用した草刈は不可」と明記し、シルバー人材センターの活用を案内する ⇒支え愛の会の活動紹介チラシを更新（お試しチケット掲載・活動内容欄に草刈り機不可を明記）、R7.12 号広報たけなみで全戸配布</li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ①地域での見守り活動等の拡充 ⑤子どもや子育て世代への支援</p> <p>●見守り活動の拡充についての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6 年度中に支え愛の会の運営を支部社協が行うことが決まり、「福祉勉強会」の内容の精査・検討の実施⇒R8 年度の内容につながる</li> </ul>

地区：笠置
話し合いの項目：③地域の支えあい活動の推進
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『地域の見守り体制の充実』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が改選したので周知が必要、民生委員が地域のお年寄りに対して、まめなかなかを活用した毎月2回の安否確認を行っていることを知らせてほしい</li> <li>・広報みかさぎを活用して民生委員と福祉委員がどの地区のどの担当なのかを周知してほしい</li> </ul> <p>『地域の子どもから高齢者までが一緒に参加できる支え合い活動』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在サロン2団体、配食サービスが1団体ある、活動を継続することや、小学校との交流事業を充実させ、交流の場が作れるとよい</li> <li>・他地区は交通安全ベストのようなものを着て、登下校時に子どもの見守りをしている、ベストなどがあると安心にもつながるのではないかと</li> <li>・恵那北小学校は、福祉の学習を年度通して行っている、地域の人関りがあるといいのでは？学校に無理のない範囲で関わってけるとよい</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <p>○高齢者の生活上の困りごと把握とその対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の周知（相談しやすい環境づくり）</li> <li>⇒R7.12月号の「広報みかさぎ」で新任民生委員を周知（全市民には広報えな 2月号（別紙折り込み）で周知予定）</li> </ul> <p>○子どもたちと地域団体が一緒に活動できる機会の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の福祉学習の機会を活用（新規事業の立ち上げではなく、現在の内容に地域の高齢者を絡めた活動として提案を図る）</li> <li>⇒R8.4～5月ごろに恵那北小学校（学年主任・4年生担任の先生）と令和8年度の福祉学習を打ち合わせる、その際に内容を詰めていく予定</li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ②見守り活動の拡充 ⑤移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●見守り・交流機会の復活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃべり会（ひとり暮らし高齢者を対象にした交流機会）の復活</li> <li>⇒R7.10開催 参加者54名（ひとり暮らし高齢者、民生委員、福祉委員、壮健クラブなど）</li> </ul> </li> <li>●みかさぎの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みかさぎ（笠置町独自の移動支援）の周知をおしゃべり会の参加者に実際に利用してもらいながら実施⇒R7.10実施</li> </ul> </li> </ul>

<p>地区：中野方</p>
<p>話し合いの項目：②高齢者の生きがいづくり、見守り支援の充実 ③地域の交流機会の充実 ④高齢者の移動手段の充実</p>
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『まめくらを中心とした高齢者の生活支援活動』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあったときにすぐかけつけられる、気づいてあげられる地域であってほしい</li> <li>・お試し利用などを行い利用者増につながるとよい</li> </ul> <p>『笠周地区が一緒になって行える取り組み』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三町での合同行事の開催⇒運動会、マレット大会、おしゃべり会、スポーツ大会 サロン合同開催、恵那北中生徒とイベント、まめくらを笠周地域に広げるなど</li> <li>・「食べる」を通じた交流機会、誰でも参加できる居場所など魅力的ではないか？</li> </ul> <p>『おきもりの活動継続』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町外にも出られる、恵那まで買い物へ行きたい+行きたい時にいつでも利用</li> <li>・事業所で働いている人や若い人の活用が必要、運転手が少ないことが課題</li> <li>・自治会からボランティア運転手を出すことができないか？</li> <li>・スタッフの確保には付加価値（有償ボランティア）をつけるなど、ボランティアが安心（補償面）して送迎できる仕組みづくりも再構築しなくてはいけない</li> <li>・自分の少しの時間をボランティア運転に使ってもらうような仕組みづくりが必要</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者への生活支援活動の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者拡大に向けた広報の工夫、体験会の開催⇒R8 年度実施に向け調整中</li> </ul> </li> <li>○笠周三町での交流機会の創出（R8 年度以降も随時内容を検討） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒笠周三町支部長による情報交換会の実施（R7.12）</li> <li>笠周三町合同サロン交流会の開催（R8.2.25）、今後の取り組みにつながるニーズ把握を行う予定</li> </ul> </li> <li>○移動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな人材確保の仕組みづくり（有償制度）⇒継続して検討</li> <li>・町外移動（病院、買い物など目的を明確にした利用）の検討）⇒継続して検討</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ⑥地域福祉を担う後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今ある「活動」を無くさない取り組み（担い手確保）</li> <li>・様々な地域活動を継続するために、子育て世代からの意見聴取などを通じて、新たなボランティア活動者が発掘される仕組みづくりに取り組む</li> <li>⇒移住者交流会へ参加し、移住者からの意見聴取を実施</li> <li>なかのほうプレパーク（子どもたちが遊びや食を体験する機会）への協力出張おゆずり広場の開催（中野方こども園）R8.2 開催予定</li> </ul>

地区：飯地
話し合いの項目 ②見守り活動などの高齢者等の生活支援
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『スマートスピーカーを活用した高齢者の安心した生活づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中でちょっとした困りごとをスマートスピーカーに手伝ってほしい</li> </ul> <p>手伝ってほしい内容⇒大雨の情報（緊急通報）をリアルタイムで見たい、飯地商店の情報（買い物支援）、認知症予防アプリ、困りごと・話し相手になってほしい、恵那市内のおくやみ、新聞機能、里山バスの予約</p> <p>『高齢者の移動支援』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎなしで恵那まで行ける仕組みがほしい</li> <li>・里山バスの予約方法⇒飯地商店と連携したバス利用予約の仕組みづくりができるとよい（例：飯地商店が予約を代わりにしてくれるサービス）</li> </ul> <p>『地域の交流拠点の検討』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集まれる場所が中心地にある（まんさく、こども園、小学校、コミセン）ので、うまく立地を使った形を検討できないか？</li> <li>・小学校の空きスペースの活用など、子どもと高齢者の交流機会がほしい</li> <li>・「集う場所を作る⇒まんさくと連携する⇒まんさく利用が必要ならつなげる」という流れを作ることで、健康な内から地域で見守り・支えられる形が必要なのではないか？（つながっていく仕組みづくりの構築）</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スマートスピーカーを活用した高齢者の生活支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活上のちょっとした困りごとで手伝ってほしい内容を地域からの意見として集約⇒恵那市情報政策課へ情報提供</li> </ul> </li> <li>○集いの場を通じた交流機会の創出（子ども～高齢者まで定期的に集まれる場所） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒R7.12 民生委員改選後、R8 年度実施に向け支部社協・民生委員・まんさく・振興事務所と話し合いを調整中</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ②見守り活動などの高齢者等の生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の困りごとを聞く機会を創出し、地域のニーズ把握につなげる</li> <li>・飯地商店の活用として、市の見守り配食サービスに登録し、配達と見守り活動を行うことを検討（地域に根付いた団体が配食サービスを行うことで、地域の情報の吸い上げにつながる体制作りを進める） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒R7.12 現在、登録は完了していないが、飯地商店が独自に配達を行いながらニーズを関係機関へ繋いでいる</li> </ul> </li> </ul>

地区：岩村
話し合いの項目 ①高齢者等の生きがいづくりや生活支援の充実 ④ボランティア活動の活性化
<p>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</p> <p>『おしろやま食堂の活性化』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンに声をかけることで、おしろやま食堂の小地域開催ができないか？ ⇒多世代交流・居場所づくりが同時につながるのではないかな？</li> <li>・学童に行けない子もいる(金銭面)そういった子が集まれる場所になってほしい</li> <li>・1回目150名集まった⇒利用者のアンケートが必要ではないか？ニーズの把握、希望をリサーチすることで目標・課題が明確になり解決にもつながる</li> <li>・単なるイベントにならないよう、弱者が参加でき、長く続けられるためのリサーチ的視点を持って取り組むことで地域にとって必要な事業になっていく</li> <li>・足の問題(高齢者)がある、参加したくてもできない⇒よやくる号の活用</li> </ul> <p>『ちょこっとボランティアの活性化』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に金額・予約を伝えていても高齢者は忘れてしまう可能性があるため、トラブル防止が必要。チケット制(事前購入)で金銭トラブル防止ができないか？</li> <li>・周知のチラシなどにお試し券をつけてはどうか？周知として効果が見込める</li> <li>・担い手の確保には地域の力が必要、退任した民生委員などへ声掛けするとよい</li> <li>・ひとり暮らし高齢者、高齢世帯は民生委員、ケアマネ、包括とつながることで利用につなぐことができる</li> </ul>
<p>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</p> <p>○おしろやま食堂の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者のニーズ把握、希望のリサーチ⇒次回以降の開催で内容を検討する</li> <li>・サロンとおしろやま食堂の一体的開催を目指す⇒今後の開催の際に検討</li> </ul> <p>○ちょこっとボランティアの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちらしでの周知におためし券の掲示やチケット制の導入など、利用の際に依頼者もボランティアも困らない仕組みづくりを検討⇒随時内容の検討を実施中</li> </ul>
<p>これまでの検討事項と現在の進捗状況</p> <p>話し合いの項目 ①高齢者等の生きがいづくりや生活支援の充実 ④ボランティア活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多世代交流を通じた地域の見守り体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・『地域食堂』(子どもから高齢者まで誰でも集まることができる交流の場)の開催 ⇒おしろやま食堂 R7.8 開催延べ150名参加(ひとり暮らし高齢者、民生委員、学童、中学生ボランティア、食事づくりボランティアなど)</li> </ul> </li> <li>●地域による困りごと解決の仕組みづくり(ボランティア活動の活性化) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによる地域内の困りごとを抱えている方への生活支援活動の開始 ⇒「ちょこっとボランティア」の仕組み構築(R7.10より)</li> </ul> </li> </ul>

地区：山岡
話し合いの項目 ⑤若者や子育て世代への支援
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『あらゆる人に対する見守りや生きがい活動等の拡充』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さとやま食堂は、地域から「やってみたい」と声上がるようになってほしい</li> <li>・さとやま食堂は、地域の児童の見守りの場として、民生委員児童委員の立場から意見をいただけてよかったと感じている</li> <li>・他世代と話す機会が少ない、さとやま食堂に関わることで取り組めないか？</li> <li>・高齢者・壮健クラブの人たちから子どもたちへ昔を伝える機会があるとよい →地域の人材発掘につながる</li> <li>・民生委員による小学校訪問、定例会の開催…小学校・保護者のニーズ把握</li> <li>・小学校の空き教室の活用…空き教室でカフェ→子どもと交流など出来ないか？</li> <li>・春まつり、さとやま食堂の継続開催 継続することで少しずつでも世代間交流を広める、みんなで広めていく周知</li> </ul> <p>『サロン活動を通じた交流機会の充実』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンを見学すると感じる事も多い、そのような周知を勧めるのも大切</li> <li>・サロンの開催場所を移したが、移動手段・送迎の課題がある</li> <li>・サロン活性化のため、物価高騰化でも運営ができるよう、助成金について再検討してほしい</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○さとやま食堂を通じた他団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・壮健クラブへ呼びかけを行い、子どもたちと交流する機会創出につなげる ⇒次回以降の開催から壮健クラブへ呼びかけを行う</li> </ul> </li> <li>○サロン活動を通じた地域の担い手支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンからの要望に合わせた支援内容の見直し ⇒サロン代表者交流会（R7.7 実施）での意見も加え、サロン活動が行いやすい体制整備の継続した検討と支部社協からの助成金の見直しを検討</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ①あらゆる人に対する見守りや生きがい活動等の拡充</p> <p style="padding-left: 2em;">②買い物や通院など交通弱者への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多世代交流の機会としてのさとやま食堂の継続 <ul style="list-style-type: none"> <li>・さとやま食堂を町内各地区で多世代交流ができる場所として開催の継続を図る ⇒R6.11 馬場山田地区で開催、参加者 80 名 調理の役割で男性が参加するなど、新しい形で開催することができた</li> </ul> </li> </ul>

地区：明智
話し合いの項目 ①地域での見守り活動などの充実 ②若者の地域参加の拡充
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『地域での見守り活動などの充実』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬくたい食堂は夏休み期間だけではなく、土日に希望のある地域で開催できるように調整している</li> <li>・デマンドバスが利用しやすい体制として、イベントに合わせたバス運行計画やバス停の新設の検討があるとよい</li> <li>・出張やすらぎカフェは今まで参加できなかった人が参加できたと好評であった</li> </ul> <p>『若者の地域参加の拡充』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校統合を前向きにとらえ、複数の地域の中学生に明智の魅力を知ってもらえるような情報発信が必要</li> <li>・お祭りは多世代の交流の場だが、若者や高齢者が参加できていない →町内の各地でお祭りやイベントがあり疲れているのも要因か？</li> <li>・中学生が主体となって企画運営するイベントがあるのでよりアピールしたい</li> <li>・実際の活動を SNS や写真から褒めてもらえると参加意欲が高まるのではないか</li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <p>○見守り活動・多世代交流の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬくたい食堂の継続開催（小地域での開催も希望に合わせて検討） ⇒地域の関係者と連携し、R8 年度も継続した開催に向け調整中</li> </ul> <p>○デマンドバスの活用による高齢者の移動支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス時刻に合わせた行事開催⇒バス路線の状況と照らし合わせて検討中</li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ①地域での見守り活動などの充実 ⑥多様な住民交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●民生委員と福祉委委員が連携した見守り活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員と福祉委員の情報共有の大切さを理解してもらうため、年 2 回の会議以外の情報周知など、福祉委員との顔の見える関係づくりの強化を図る ⇒R7.3 福祉委員委員連絡会にて意見聴取を行い、R7.12 福祉委員宛てに地域の見守り活動に参考となる情報を発信</li> </ul> </li> <li>●子育て支援につながる多世代交流の機会づくり（ぬくたい食堂の継続開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域の方が集まる機会としての取り組みを継続して行っていく ⇒R7.3 開催 計 127 名参加 R7.8 開催 計 135 名参加（参加者はボランティア含む） ※「子どものためなら」とボランティア活動に積極的に参加していただける姿も見受けられ、新たな担い手発掘につながるようなポイントも感じている</li> </ul> </li> </ul>

地区：串原
話し合いの項目 ①高齢者の生きがいつくり・生活支援
<p>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</p> <p>『居場所を通じた生きがいつくり』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○居場所の必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が楽しめる場所としてサロンがある⇒いつかはいきいき教室につなげたい（いつまでも居場所がある地域でありたい）</li> <li>・サロンに行きたいと思えるきっかけがあるとよい、男性も気軽に参加できるようになってほしい</li> </ul> </li> </ul> <p>『地域での支え合い活動の必要性』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○くしはら支え合い <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院や買い物の支援が一番重要で、話を聴いてほしいというニーズもある</li> <li>・買い物を頼ってもいいのだろうか？という遠慮の思いがある</li> <li>・支え合い活動が安否確認になる、一部の人が頑張るのではなく地域全体で協力できる体制になってほしい</li> </ul> </li> <li>○地域内の困りごとを拾う体制づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所と顔の見える関係づくりが必要、困りごとをすぐに相談できる体制、個の課題を地域で考えられるとよい</li> </ul> </li> </ul> <p>言いやすい・頼みやすい串原になってほしい、困りごとの一番は獣害</p>
<p>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○居場所支援につながるニーズ把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動の環境整備（備品）⇒サロンからのニーズ確認を実施（サロン交流会の開催 ※R8.2 開催に向け調整中）</li> </ul> </li> <li>○生活支援活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動者（民生委員・配食・サロンなどの関係者）のスキルアップにつながる傾聴の勉強会の開催⇒開催時期を調整（R8.3で検討中）</li> </ul> </li> </ul>
<p>これまでの検討事項と現在の進捗状況</p> <p>話し合いの項目 ②移動・買い物支援の拡充</p> <p style="padding-left: 40px;">③伝統文化の保存活動を通じた地域活動への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域内の買い物支援体制充実への取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン訪問を通じてサロンへの移動販売の希望や買い物支援の必要性について意見聴取を行う⇒訪問した内容から恵南商工会議所を通じて移動販売ステーションに集いの場を加えることができるのか提案（サロンは月1開催のため不可、ステーション設置条件は毎週1回、R8.2 サロン交流会の際に改めて意見聴取）</li> </ul> </li> </ul>

<p>地区：上矢作</p>
<p>話し合いの項目 ①地域交流の促進によるつながりの強化 ④地域住民みんなで子どもを見守ることができる地域づくり</p>
<p><b>懇談会で出された主な意見・話し合いの内容</b></p> <p>『地域交流の促進』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○男性の地域交流促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動への参加、サロンの情報発信、花植など地域活動（継続） <ul style="list-style-type: none"> <li>→きっかけを作る：声掛け、体験参加、夫婦で参加など</li> <li>→興味を持つ内容：農業講習、料理、温泉、役割のある仕事など</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○デマンドバスの利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>→体験：実際に利用することで改善点を明確にする</li> <li>→応援：駐輪場の提供など乗り場の改善を図る</li> </ul> </li> <li>○顔の見える関係づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者まで集まれる場づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>→地域食堂の開催（新たな担い手発掘にもつなげる）</li> <li>→上矢作病院の空きスペースの活用、元気な人も参加できる催しがあるとよい</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>『子どもを見守る地域づくり』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で見守れる体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童を対象としたサマーキャンプ（継続）</li> <li>・子ども園の活動を発表する地域の機会提供づくり</li> <li>・中学校が統合しても参加できる地域活動の機会づくり</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>懇談会を通じて確認された事項・今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多世代交流の機会づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・『地域食堂』（子どもから高齢者まで誰でも集まることができる交流の場）の開催を目指す⇒R8.8開催に向け調整中 名称：ふくちゃん食堂（仮）</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>これまでの検討事項と現在の進捗状況</b></p> <p>話し合いの項目 ②買い物や通院など交通の充実 ③多様な高齢者支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の意見・ニーズをつなげる体制づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内交通、買い物支援の充実に向けた他会議・事業者との連携体制</li> </ul> </li> </ul> <p>上矢作町交通政策会議や恵南商工会による移動販売意向調査の情報を健康福祉部会で共有し、高齢者の意見・ニーズを地域内交通ルートや移動販売ルートに反映できるよう継続して高齢者からの意見聴取を行い、連携した取り組みを図った</p>

## ◆まとめ（令和7年度 地域福祉懇談会・福祉合同会議総評）

地区特有の課題に対しては、第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画における進行管理の状況と地域福祉懇談会・福祉合同会議での意見聴取を踏まえ、次年度に向けた取り組み内容が具体的に決まる地区が昨年度より多く見られた。

特に、令和6年度の地域福祉懇談会・福祉合同会議の中で多くの意見をいただいた下記の2点については、各地区の今年度の話し合いにより、地区ごとの特色ある形で取り組みが継続されている。

### ●令和6年度多くの地区で上がった意見（振り返り）

#### 1. 人と人とのつながりについて

人と人とのつながりが薄くなってきており、「人付き合いの減少」「個人主義的、地域に無関心などの意識の変化」という問題から「向こう三軒両隣の関係構築が必要」との意見。

#### 2. 世代を越えた交流機会の必要性

地域のつながりを構築していくための手段として、市民同士が顔見知りになり、コミュニケーションを図っていくことがポイントとして多く挙がり、市民が交流する機会を増やすことが大切という意見。

上記2点を解決するための具体的な取り組み内容が多く見受けられ、各地区の地域力の高さを感じた。

その一方で、話し合いの項目や内容によっては課題解決に時間がかかるものが見受けられた。その中で、特に次年度以降注力して取り組まなければならない意見を1点整理する。

### ●担い手確保について

各地区で様々な意見・アイデアを出していただく中で、何をやるにも人材は必要不可欠であるとの意見が出された。高齢者が高齢者を支えなければいけない地区、若者の地域参加を求めたいが若年層人口の減少や働き方や価値観の相違から求められない現状など、様々な要因と合わさった根の深い課題であると地域住民も認識していると感じられる場面が多く見受けられた。

恵那市の総人口が令和7年度中に46,000人を切り、市全体の高齢化率が36%を超え、1年間の出生数が200人以下という現状をしっかりと認識した上で、社協として制度の枠にとらわれず、多面的な視点で地域住民の暮らしを地域で支えるためのさまざまな活動・事業を積極的に企画・実施していく必要がある。

以上の点は地域福祉活動を推進していく上で重要な視点であると感じられる。令和8年度の計画進行管理においては、この点を盛り込んだ協議が実施できるよう事務局で検討を進めていくことが必要である。